

3 環境マネジメントシステム

環境配慮の取組の経緯

環境配慮の取組年表（～2004年度）

長崎大学は、1997年、当時の国立大学の中で最初に文理融合型の教育と研究を行う環境科学部を設立しました。次いで、2002年に、大学院環境科学研究科が発足し、さらに、2004年には、大学院生産科学研究科（博士前期・後期課程）へ移行することによって、環境科学の教育・研究体制の充実に努めてきました。また、環境科学部では、2003年3月には、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」を認証取得するなど、早くから、環境に配慮した教育研究活動を継続して行っています。

さらに、2004年3月には、長崎大学環境保全センター（現在、共同研究交流センター・環境安全マネジメント部門）を中心に、6つの学内共同研究施設が一体となって、「ISO14001」認証を取得しました。

このように、長崎大学は、現在まで、総合的に地球環境問題を捉え、積極的な教育研究を進めることによって、環境に配慮する姿勢を示してきました。

1997年10月	長崎大学環境科学部は国立大学において最初の文理融合学部として発足
2002年4月	大学院環境科学研究科発足
2003年3月	環境科学部 ISO14001 認証取得
2004年3月	環境保全センターが中心となって、学内共同利用6施設がISO14001を認証を取得
2004年4月	大学院環境科学研究科を大学院生産科学研究科（博士前期・後期課程）へ移行
2004年12月	地域共同研究センター、機器分析センター、環境保全センターの機能を統合し、「共同研究交流センター」を新設

長崎大学環境科学部： 2003年3月「ISO14001」認証を取得

長崎大学環境科学部は、平成15年3月20日に環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証を取得しました。環境科学部は、「地球環境の保全と人間社会の環境調和的な持続的発展を図る」ことを目的に教育・研究を行っている日本で最初に設置（平成10年度）された文理融合の新設学部です。平成14年3月に学部完成年度を迎えこれを機に学部内でISO14001の認証取得の機運が高まり、14年5月の教授会で認証取得を目指すことが決議されました。取得に当たってはISO14001運営委員会を組織し、環境方針、環境管理マニュアル等の検討を重ね、これに基づく組織・実行体制を整備した上で、活動を開始し、平成15年3月の本審査を受検するに至りました。本審査では、「教育による環境に配慮出来る質の高い学生を輩出」を大きな目標に掲げ活動していることが大いに評価されて「適格である」との認証を受けました。

認証から3年経過した平成18年3月には、更新審査も合格して新たな環境への取組を開始しています。

平成18年4月1日に更新された 長崎大学環境科学部 ISO14001 認証登録証



1. 基本理念

長崎大学環境科学部は、環境と共生する循環型社会への転換をリードする環境科学の開拓・確立・高度化の推進を理念とする教育・研究を行う。

本学部は日常の活動で環境負荷低減を自ら実践し、キャンパス内及び地域の環境改善へ向けて情報を発信する。

2. 環境方針

- (1) 自然と人間との調和を踏まえた地球環境の全体的保全と人間社会の持続的発展を図るために、以下の内容を含む環境目的及び目標を設定する。
 - (a) 独自の教育研究システムを創造し、社会に貢献できる人材を育成する。
 - (b) 国際的環境研究・教育への協力、環境問題の相互理解と情報の共有を推進する。
 - (c) 産学官連携による環境研究を推進する。
 - (d) 環境に関連した情報・教育の社会への啓発と普及を図る。
 - (e) 学部内のすべての活動に関わる環境関連法規、規制と学内規定等を遵守し、エネルギー使用量の抑制、廃棄物の削減、資源のリサイクル、グリーン購入等を積極的に推進し、環境汚染を予防する。
 - (f) キャンパス内の環境改善に向けて積極的な提言を行う。
- (2) ISO14001 運営委員会を組織し、定期的に環境マネジメントシステムを見直し、継続的改善を図る。
- (3) この環境方針は文書化し、長崎大学環境科学部内のすべての教職員・学生に周知するとともに、大学内及び一般の人にも文書並びにインターネットを用いて開示する。

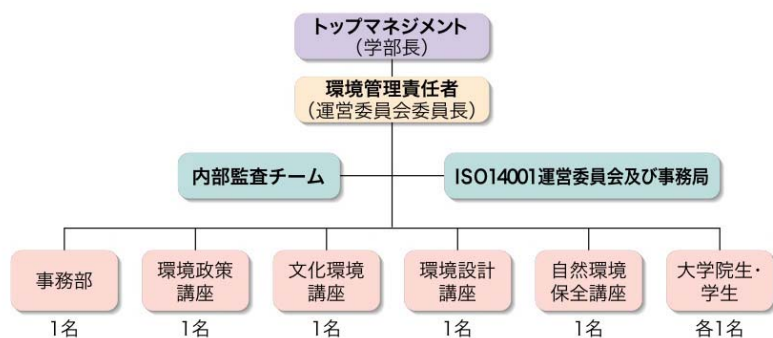
<http://www.env.nagasaki-u.ac.jp/mainJ.html>

平成 14 年 11 月 1 日

環境マネジメントシステムにおける環境科学部の組織

環境科学部の環境マネジメントシステムに関する組織は、下記の通りとなっています。運用実績等の進捗状況は、環境管理責任者を中心としたISO14001運営委員会で6ヶ月に一回審議され、すみやかに各講座に伝達されます。また、定期的な内部監査(専門的教育を受けたメンバーで構成)で進行状況をチェックしています。

さらに、環境マネジメントシステムに関する専門性を有する職員及び学生を含む「環境報告書作成チーム」を編成し、昨年11月に、『環境報告書 2005』を発行しました。



詳細は、

(<http://www.env.nagasaki-u.ac.jp/mainJ.html>) をご覧ください。

長崎大学学内共同利用施設等環境方針

1. 基本理念

長崎大学学内共同利用施設は、互いに協調し、身近な環境問題に関心を持ち、大学内での環境悪化を自ら防ぐ目標を立て、積極的に解決することを宣言し、広く長崎大学の学生、教職員及び地域に対し環境マネジメントシステム (ISO14001) の意義を伝えていく。

2. 環境方針

(1) 地球環境の保全と人間社会の持続的発展を図るために、以下の内容を含む環境目的及び目標を投定する。

- (a) 大学内及び地域社会に対する教育・研究システムを創造し、社会に貢献できる人材を養成する。
- (b) 国際的環境研究・教育の協力、環境問題の相互理解と情報の共有を推進する。
- (c) 産学官連携による環境保全に関する研究を推進する。
- (d) 環境に関連した情報・教育の社会への啓発と普及を図る。
- (e) サイト内のすべての活動に関わる環境関連法規、規制と学内規定等を遵守し、エネルギー使用量の抑制、薬品使用量の抑制、廃棄物の削減、資源のリサイクル、グリーン購入等を積極的に推進し、環境汚染を予防する。
- (f) キャンパス内の環境保全・環境改善に向けて積極的な提言を行う。

(2) ISO14001 環境管理委員会を組織し、定期的に環境マネジメントシステムを見直し、継続的改善を図る。

(3) この環境方針は文書化し、長崎大学学内共同利用施設内のすべての構成員に周知するとともに、大学内及び一般の人にも文書並びにインターネットを用いて開示する。

<http://www.ep.nagasaki-u.ac.jp/ISO/ISO14001.htm>

平成 17 年 9 月 1 日

共同研究交流センター

環境安全マネジメント部門長

長崎大学学内共同利用施設 (認証取得サイト)

- 先端生命科学研究支援センター
 - ・アイトープリソース開発分野
- 大学教育機能開発センター
- 保健管理センター
- 共同研究交流センター
 - ・先端研究支援部門
 - ・産学連携部門
 - ・環境安全マネジメント部門

環境マネジメントシステムにおける 組織図

